The Women's News, Japan

This paper's aim is to promote peace and equality from the point of view of women.

本紙は女性の視点で平和と平等を推進します

女性ニューズ
The Women's News, Japan

発行所　全国婦人新聞社　〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-7-28 宝幸西新宿ビル　電話 03-3343-1846㈹　FAX 03-3348-1890　E-mail : josei-news@arion.ocn.ne.jp　URL http://www.josei-news.jp　月3回発行(10日、20日、30日)　購読料 1年 7,245円　振替口座 00150-7-172320（郵送料、消費税込み・前納）

自然の色と味を生かすうすくち
㊧ヒガシマル醤油
うすくち醤油発祥の地　兵庫県龍野市 ヒガシマル醤油株式会社

椅子に座れない若者は壇上で車座になって参加

日本とイラクの架け橋に！

渡辺さん、安田さん、郡山さん

解放された3人の帰国報告

イラクで拘束された5人のうち、渡辺修孝さん、安田純平さん、郡山総一郎さん3人の帰国報告集会が20日、東京・中野区内で開かれた。会場の入り口に右翼系と思われる街宣車が2台止まり、「国賊の言葉に耳を傾けるな！」とがなり立てた。その声の下をくぐって860人が会場に。入れない人たちでロビーもいっぱいになった。

5人の拘束は、日本が自衛隊をイラクに送り、米軍がファルージャで1000人にも及ぶ大量虐殺をするという中で起こった。5人は無事解放されたものの、政府・外務省筋が発した「自己責任」バッシング攻撃が被害者や家族を襲った。一連の事件とイラクの現状を聞いた。主催者を代表して、武者小路公秀さんが、「5人は、日本の美しい顔をイラクの人々に見せ、彼らがイラクと日本の間に橋を架けたのだ」と挨拶。

フリージャーナリストの安田さんは、拘束されたとき「俺たちは、俺たちの生活を守るためにやっているのだ」と言われたが、丁重な扱いを受けたと言う。イラクではたくさんの人が殺されているがカウントすらされていない。「丁重な扱いを受けた自分は、人間らしい生活を守りたいと言う彼らに何ができるかを考えていきたい」と言う。

「大手マスコミは警備のために、現地人や大手の警備会社を雇っているが、武装して活動することが災いすることもある。わたしたちが助かったのは、誰も武器を持っていなかったからだ」と言うのは、「在イラク自衛隊監視センター」のスタッフの渡辺さん。

フリーカメラマンの郡山さんも、「農家に泊められたが、普段着のおじさんがやってきて握手を求めるなど、時にはホームステイしているような感覚になることもあった」。3人とも丁重な扱いを受けたが恐怖心は、いまもトラウマになっていると言う。

疲れたのは解放後。警察が繰り返し繰り返し同じ事を聞く、その度に恐怖のフラッシュバック。高遠菜穂子さんは、そこからおかしくなった。それに追い討ちをかけたのが自己責任論バッシング。

「毎日電話やファクスでバッシングされるので、おふくろも息子が悪いことをしているのではないかという気になり、〝謝れ〟と言った。いま自分が謝ると、続くNGOやフリージャーナリストが動けなくなると思いはねのけた。いまは、お前は悪くなかったと言っていると郡山さん。

渡辺さんも「政府のコントロール内での取材は真実が見えない。コントロールの外で、援助して真実を見て、伝えるのがNGOでありフリーのジャーナリストだと思う」。

5人のバッシングに対し、日本ペンクラブ会長の井上ひさしさんは「おかしな自己責任論だ」。自己責任とは、問われたら応えること。例えば、自分がたてた志に対して、自分が実行して応えることが自己責任なのだ。志を果たした5人に、果たさない人が言うべき言葉ではない。「逆転したおかしな社会を変えていかないと…」と発言。

最後に、「アメリカを中心とする非人道的な軍事活動によるイラク民衆殺戮と占領をやめさせ、自衛隊の撤退に全力を挙げる」アピールを採択。

ニュースくりっぷ

◆有事7法案衆院通過
国民保護法案をはじめとする有事関連7法案が与党と民主党の修正で20日衆院通過。与野党合意の流れ定着？

◆裁判員法成立
21日参院本会議で可決、成立。無作為に選ばれた20歳以上の国民が裁判官とともに被告の有罪、無罪や量刑を決める。原則的に義務。守秘義務がある。09年スタート。

◆日朝首脳会談、拉致家族5人帰国
22日平壌で行われた日朝首脳会談で拉致被害家族8人のうち5人が即時帰国。曽我ひとみさんの家族は来日を拒否、第3国で話しあう方向で調整。安否不明の10人の金正日総書記は再調査を約束したが新たな情報なし。被害者の家族会は強い不満、小泉首相の異例の2度の朝鮮訪問について、評価は2分。

◆強制連行、国、企業の責任認めず
戦争中強制連行された中国人男性15人が、国と三井鉱山に賠償をもとめている訴訟の控訴審で、福岡高裁は地裁判決を取り消し原告の訴えを退けた（24日）。加害は認めるが、時間がたっており賠償の請求権は消滅したと。

「戦争」は「真実」を殺す

憲法とイラク派兵を考える
国民主権は人を殺さない

憲法集会

21日、東京ウィメンズプラザで、憲法記念集会「憲法とイラク派兵～戦争は真実を殺す～」（共催・新ガイドラインに反対し、平和憲法をまもる市民と団体の会／汚職に関係した候補者に投票しない運動をすすめる会）が開かれた。「イラク人道復興支援法」に基づき、自衛隊のイラク派兵が実施された。同法が憲法に抵触していると指摘されながら、日本はアメリカの攻撃に協力し続けている。

集会は、小田中聰樹（専修大教授）さんの記念講演、岡野加穂留（明大元学長）さんのコーディネートで、片倉もとこ（中央大教授）、竹岡正美（元防衛庁官房長）、明珍美紀（新聞中執委員長）さんらパネリストが話し合い、会場との質疑応答、意見交換。締めくくりとして「イラク占領の終結と自衛隊を含む米英などの占領軍の即時撤兵を求め」、「有事法制に反対し、憲法を生かした政治を実現させていく」集会アピールを採択して閉会した。

開会にあたり、江尻美穂子（日本YWCA理事長）さんは、「戦後60年、ひとりの兵も死なさず殺さず、今日まできたのは、憲法のおかげ。小泉政権は、ブッシュ大統領に対して何でもOKを出し、戦争に近付けていく。あきらめずに活動を続け、平和を世界に広げる国にしたい」と挨拶した。

記念講演では、小田中さんが、新聞世論調査、アンケート調査などのデータから見える改憲の動向、また、イラク人質事件の「自己責任」論にみる「棄民の思想」の氾濫などから、今の日本社会を分析し、日本国憲法の持つ、優れた思想的・理念的構造を説いた。このところ激しい改憲の動きについて、小田中さんは「与党の改憲は、押せ押せムード。参院選挙後、一気に加勢するだろう」といい、これまで発言を控えていた財界も9条改憲を声高に言っているという。しかし、改憲をめぐる自民党内の議員のアンケート、新聞世論調査を細かくみると「国民の意識は、一般的に言うとばらつきがあるが、憲法を中心に動いていることに、戦後の日本の底力を感じる。護憲の声は少数派ではないと実感した」。

「先のイラク人質事件では多くの市民が救済と自衛隊撤兵を奥底に秘めての活動を行い、その声は、イラクに届いたと思う。日本は憲法の心を失っていないと思う」とも。しかし、解放後の「自己責任」論で、「国のやり方に反する反日分子のレッテルを貼った。非国民へのバッシングが、自己責任論の裏にある。政府の方針に逆らうものは保護する必要はないというのは、棄民の思想。今、社会に満ちている」と警鐘を鳴らし、国民主権をしっかり設定した憲法前文は思想の大系であると語った。

パネルディスカッションでは、片倉さんが世界史の視点で、イラクというアラブ文化について話し、「日本でうまくいった占領政策がイラクでうまくいかないのは、なぜか。日本のときは、文化のことをよく研究していました。そをがかるは知たが、ブッシュは、何も知らないのだ」。竹岡さんは、「自分の命が今日あるには、平安時代までさかのぼると、2億人の人が関わって生まれたことを知った。生命の価値こそ大切。国家も天皇も、〝日の丸〟も〝君が代〟も人間が作ったもの。何を守るべきかと言えば、国民の命以外にない。天皇主権で多くの人が死んだが、国民主権になって、誰も死んだ人はいない」と生命の大切さを強調し、朝鮮半島の恒久平和と沖縄基地撤廃を訴えた。明珍さんは、「マスメディアは、情報統制を受けるようになったと感じるし、ジャーナリズムが力を失ってきた」といい、敗戦後、「戦争のためにペンは持たないカメラは持たない、輪転は回さないと誓ったとおり、戦争にならないペンを持つことを強調しなくてはならない」と話した。

【訂正】
5月10日（1391）号1面の「女子差別撤廃条約選択議定書批准求め請願署名35万名提出」の記事中、参議院で5回出された請願署名が採択されていない表現がありましたが、「請願署名は参院で、5回採択されているが衆院では一度も採択されていない」と訂正します。
編集部

今まで以上に行動する！
女性とジャーナリストの集会

平和への思いを語る三木睦子さん

壇上からのよびかけに横断幕で答える参加者

「イラクからの自衛隊撤退を求める女性とジャーナリストの緊急集会」が、5月14日の夜、日比谷野外音楽堂で開催された。

これは、女性の労働組合委員長3人（新聞労連・明珍美紀委員長、航空労組連絡会・内田妙子議長、日本医労連・田中千恵子委員長）の呼びかけによるもの。働く女性たちを考え、夜に、500人は入る広い会場で行った。時に小雨の降るなか、2000人近い女性を中心とする参加者が、会が終わるまで身じろぎもせず、「日本を再び戦争をする国にしないため、自衛隊はいますぐイラクから撤退を」（アピールから）とよびかけた。

冒頭のあいさつで、呼びかけ人の内田さんは、いくら反対しても耳を貸さぬ政府にあきらめてしまう人もいるが「こんな状況だからこそ、これまで以上に行動する必要がある」とこれからもますます行動しようと提案。

辛淑玉さんの辛口トークにつづき、イラクで人質になったカメラマンの安田純平さんが報告。〝自己責任〟などの〝おどし〟に負けず、がんばれと会場から大声援が飛んだ。

ジャーナリストの発言が多かったが、『世界』編集長の岡本厚さんは「今のマスコミは鈍磨している。今の報道のおかしさに気づかない」。ノンフィクション作家の吉岡忍さんは「日本のテレビや新聞を見ていては、ことが分からない。きちんと現実を見る眼をつけるのはジャーナリズム。報道する勇気」。関東学院大教授の丸山重威さんは「日本のジャーナリズムは権力をニュースソースにしているから酷い。何とかしたい」とジャーナリズム批判が目立った。

圧巻は、三木睦子さん。「なぜ、日本がアメリカの手先になり、イラクに行かなければならないのか。日本は戦争を放棄したはず」。徳島で体験した空襲の体験などもまじえながら熱く語った。

たんぽぽ

「住友金属男女差別裁判だより（15号）」を見ると、証人尋問に出た住友金属の元役員が、女子社員のことをくりかえし「お嬢さん、お嬢さん」と連発し、「その、お嬢さんというのはやめてください」と原告側弁護士から注意を受けたとある。思わず笑ってしまった▼ところで、多くの日本企業で女子社員がお嬢さんと呼ばれていた。決して敬称ではない。男の指示に従い補助的業務を素直にこなし、数年で良き夫をみつけ退社。まちがっても結婚後も働きつづけたい、などいわない〝可愛い〟女。「いま、コピーを女の子（それが自分より年上の先輩であっても）にとらせます。オイ、お嬢さん、コピー頼む」の世界。〝女、子ども〟は1人前でないという考えのもとの「軽称」である▼「でも、今どきお嬢さんとはねえ」と呆れていると、私より少し年上の同業の女性。「私も入社したころ、お嬢さんって言われたわよ。なんでお嬢さん呼ばわりされるのかと怒ったものよ」という▼彼女の会社では、まさかいま、お嬢さん呼ばわりはないだろう。女性の部長もかなり前に出現している会社だから。だが、住友金属がこの元役員を証人に出したところを見ると、同社の幹部の頭の中は、まだ「お嬢さん」の世界なのかもしれない。元役員は何でお嬢さんがいけないかまだわからないのかもしれない。これは笑いごとではない。

この人が語る「不登校」
お求めは、全国の書店もしくは当社まで
絶賛発売中！

全国不登校新聞社／編
発行　講談社
定価1500円(税別)

■羽仁未央　■椎名誠
■大平光代　■落合恵子
■安住磨奈　■吉本隆明
■辛　淑玉　■立川志の輔
■谷川俊太郎　■森毅
■渡辺位　■大槻ケンヂ
■岡本敏子　■ひろさちや
■五味太郎　■高木仁三郎
■山口由美子　■大田堯

NPO法人
全国不登校新聞社
Phone 03-5360-1231(東京編集局)

今何が・・・
庶民の立場にたってルポする「ドキュメントDD」。
TBSテレビ　毎週火曜日25時50分～
この他、2時間スペシャル、BSiなどにも制作。
現代センター
代表　吉永　春子

なぜ、こんな国になったのだろう？
―主権は国民にあることを忘れないで。―
女性ニューズ

「草の実会」最後のデモ

平和を求めて104回
学習し発言つづけた半世紀

5月15日の午後、東京・渋谷の街を「草の実会」のデモが行く。70年安保の年に始まりこの日で104回目、そして最後の「15日デモ」である。参加者約80人。杖をついての80歳の会員も、「武力で平和は来ない」「イラク支援に軍隊はいらない」「戦争反対の声をあげましょう」とマイクのリードにあわせて、渋谷の街を歩き、訴えた。

渋谷の街を歩く「草の実会」最後のデモ

「草の実会」は、4月の総会で会を閉会した。メンバーが高齢化し、活動ができなくなったため。近頃、女性の団体で、高齢化により閉会するところが目立っているが、ユニークな活動で知られる「草の実会」も歴史を閉じることになった。この日は同会の最後の行動。会員が前夜遅くまでかかって書いたという「自衛隊はイラクから撤退を！」などの平和を訴えたプラカードが風に揺れる。平和問題に特に熱心だった同会らしい最終行動だった。

戦後、朝日新聞家庭欄に「ひととき」欄が出来たとき、女たちの思いを表現できる欄に感激、投稿した人々によって1955年結成された。「草の実会」は東日本の投稿者の会で、西日本等の投稿者たちの会もできているが、「草の実会」が特に有名なのは社会問題への真剣な取り組みからだろう。

同会は普通の団体によくあるように会長といったリーダーをおかず、すべての会員が平等という考えを最後まで貫いた。住んでいる地域ごとのグループ制をとり、「ひとりで考えてもどうにもならないことをみんなで話し合う」体制で学習を続けたが、そのうち特に関心の深い問題で「研究グループ」制度を作った。老人問題、平和、憲法などは有名。老人問題の研究は、高齢化社会問題が国の大問題と騒がれだすずっと前。問題を提起し研究した草分けだろう。

社会問題に敏感で熱心なことが同会の特徴で、専業主婦の多いグループでこれだけ長く会が続いたのもこのためといえるかもしれない。「草の実」が発足したころ、「ひととき」と同様な新聞の女性投稿欄の投稿者の会ができているが、「草の実」のように活発な活動をしたものはなく、或いはすぐ消えてしまっている。

中でも「凄い」のは同会の機関誌活動。冊子『草の実』を毎月出し続けた。近年隔月刊になったが、70ページくらいの薄い雑誌とはいえ、市民のグループが毎月出し続けるとのは並大抵のことではない。もともとが投稿者の集まりで、書くことが好きな人の会だからとはいえるが。編集も特定の人に役目を押しつけず、グループ毎の当番制にし、"全員参加"でやった。『草の実』は、近く発行される終刊号が474号である。

デモは1970年から。戦争への危惧から始まった。これも最初は毎月だったが、体が続かないと、5月、8月の年2回、雨の日も猛暑の夏も「平和」を訴え続けた。

歩み続けた同会、創立当初からのメンバーが80歳、90歳になってがんばっているのも眼を見張るが、新しい若いメンバーの入会はままならなかった。「会」の持続は、まことにむずかしい。「閉会は仕方ないことだと思う。若い人に思いを引き継ぎ、若い人で新しい会を作っていってもらう。それしかない」というのは石崎暾子さん(80)。「草の実の女たちは50年間のがんばり、学習してきた。その歴史にわれながら感動する」。「草の実会」50年の記録をまとめる作業を続けながら大倉八千代さんはいう。平和運動に熱心な大倉さんは、「会」がなくなっても平和運動を続けるというが、発言のときは草の実・大倉と草の実の名を語り続けたいという。

海外通信　中国＝㊵　森　碧

続・北京から你們好（こんにちわ）！

中国？　韓国？
端午節はどの国の遺産？

「韓国が中国の伝統行事を横取りする!?」

5月初めのある朝、出勤途中の地下鉄の中で朝刊を開いた途端、過激ともとれる文字が目に飛び込んできた。

端午節、つまり日本で言う端午の節句の行事を、韓国が世界無形文化遺産としてユネスコに申請したのだという。端午節は中国の行事であり、それを後から祝うようになった韓国が、自国の文化遺産として世界遺産に申請するのは、筋違いではないのかというわけだ。

端午節は、旧暦の5月5日だ。中国では、今から2300年以上前、戦国時代の詩人、屈原が入水自殺をしたのがこの日であり、乱れる国を嘆いて自ら命を絶った彼を祭ったのが端午節の由来とされる。香港や台湾と違い、本土では休日にもなっていないが、それでも地方によってはドラゴンレースが行われ、人々は粽（ちまき）を食べて祝う。そもそも、ドラゴンレースは屈原の捜索が由来であり、粽を食べるのは、水中の屈原の体が魚に食べられないように飯の塊を河に投げ込んだ名残りといわれる。ちなみに、中国の粽は日本のような団子ではなく、もち米を混ぜたご飯を肉や甘い棗（なつめ）、小豆などと竹の葉に包んで蒸したものだ。

さて、一方の韓国の端午節はどんなものなのか。これは見たことがないのでインターネットで調べてみた。どうやら春の農作業が終わった後、豊作や健康を祈る農耕的行事の色彩が濃いようで、ブランコをして遊んだり、菖蒲を煮た水で髪を洗ったりするという説明があった。地域によっては、巫女による祭事が行われ仮面劇が演じられるなど、韓国独特の伝統的色彩が濃いようだ。

"端午節さわぎ" を報道した新聞

韓国側が「端午とは5月5日を指すもので、韓国の端午節は屈原以前からあった」「中国の言い分は狭量だ」などと反論する記事も見つかった。どうやら、一部ではかなり激しい論戦に発展していたらしい。

同じ端午の節句を祝う日本人から見ると、他人事とは思えない論争だ。日本にも、中韓両国とは少々異なる祝い方がある。もし日本政府が、鯉のぼりや兜飾りで祝う端午の節句を無形文化遺産に申請したら、どんな反応があるのだろうか。

だが、各国に同じ祭りがあり、繋がりがあるにもかかわらずそれぞれ異なった形となっていることの方が、よほど重要なことではないだろうか。それは、長く歴史を共有してきた三つの国が、文化を共有し、一方では各国が独自の文化を持っていることを証明する事実だと思えて仕方がない。

その後、中国も申請を準備している、中国でも伝統的祝日を休日にしようという動きがあるという報道もあったが、どうやらメディアの先走りだったらしい。前者はともかく、後者は事実であって欲しかった。今年の端午節は、6月22日だ。

ネパール山村の少女に教育を！
女性の地位向上に向け
女性への教育は社会を変える

日本ネパール女性教育協会
設立記念シンポジウム開く

ネパールの女性の地位改善の具体的アプローチとして、教育の普及拡大のために活動しようと「NPO日本ネパール女性教育協会」（山下泰子理事長）が発足。22日、東京都文京区の文京学院大学本郷キャンパスで、設立記念シンポジウムが開かれた。シンポジウムでは、法人設立までの歩み、設立のきっかけとなった文京学院大学国際女性学ゼミナールのネパール合宿に参加した学生（当時）らがその体験を語り、また、協会の前身「ネパール女性の教育を考える会」が2003年に行った現地調査の模様をVTRで観ながら、ネパールについて知った。たった一間の部屋、4～5枚の皿、電気もガスもなく…。男たちは、茶店で寄り合いお喋り、そして博打。畑で働くのは、女ばかり…。

シンポジウムで

働く少女たち（写真提供：日本ネパール女性教育協会）

ネパールは、宗教、ジェンダー、カースト、居住地域等を原因として、女性の人権が低く、特に遠隔地では、少女たちの3割程度しか小学校教育を受けていない。学校では男性教師がムチを持ち、学生も男ばかり。学校は女の子の行くところではないという考え方だ。女性教育の普及拡大のためには、質のよい女性教員を養成して、遠隔地域の小学校に配置するのが効果的と、同協会はその政策目的実現のために設立。日本の現役・退職教師派遣プロジェクトなどを行っていく。

ネパールをフィールドにゼミを10年以上担当している山下泰子（同大教授）さんは「男の子を教育するのは、その子を教育するに過ぎないが、女の子を教育することは家族、社会を変えることになる」というマハトマ・ガンジーのことばをひき、女性に対する教育の必要性を強調した。

93年、ゼミナールでネパールを訪れた1期生の井上アスカさんは「窓にはガラスもなく、土間で家畜と一緒に生活していた。具合の悪い夫らしき人が、一週間同じ場所に動かずにいた。医者に行くバス代と、1日分の風邪薬をあげたが、援助について考えさせられた」「女の子たちに夢を聞くと『夢など考えたこともない』と答えた子がいた。教育を受けることの大切さ、日本で贅沢な生活をしている自分を思い知らされた」と話した。

同協会は、今後は、同大学を中心に学生と社会人が一緒になって、活動を進める。問い合わせは、事務局FAX055・945・0030へ。

「有事関連7法案3条約協定」に反対

人を殺すな！戦争するな！

国民のほとんどが廃案を望んでいる国民年金改革法案が、参議院厚生労働委員会で本格的な議論が始まり、かたや自衛隊をはじめ国、自治体、民間企業、国民を総動員する有事関連7法案審議が、衆議院有事法制特別委員会で山場を迎えた19日、国会周辺ではこれらに反対する集会、座り込み、議員への要請行動が目まぐるしく展開された。

衆院第2議員会館前は、宗教者や陸・海・空・港湾労組、市民の呼びかけの緊急集会、参院議員会館前は全労連呼びかけの全国統一行動、その間をぬうように女性の憲法年連絡会が座り込み行動、日本医労連は院内集会などなど。

衆院第2議員会館前の「有事関連7法案3条約協定」に反対する緊急集会には、「有事法制をぶっつぶせ！」「人を殺すな！」「戦争をするな！」など様々のプラカードを持って、約100人が参加。

「7法案撤廃！」とシュプレヒコール

年金改悪に座り込みで反対する全労連

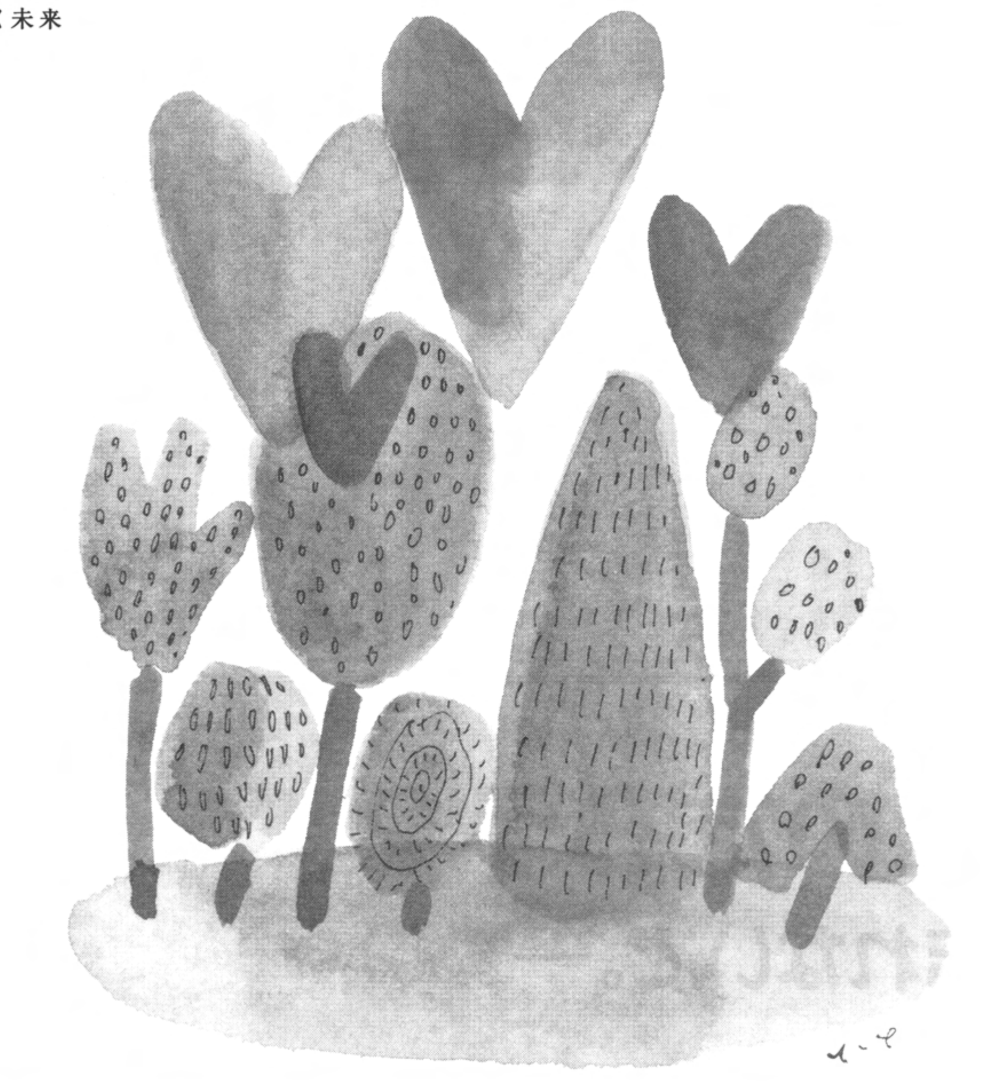
主催者を代表して、平和をつくり出す宗教者ネットの木津博允さんが、イラク戦争の惨状を語り「戦争ほど残酷で金の掛かるものはない。殺すな殺されるなの声を束ねていけば必ず成果が出る。戦争荷担の法案を廃止に追い込もう」と呼びかけた。

日本原水爆被害者団体協議会の田中事務局長は、特別委員会で防衛庁長官が「国民を守るために、核抑止力をできる体制をつくると、戦争を前提にモノをいっている。核戦争をしてどうして国民を守れるか。こういう防衛庁長官のもとで有事法案が進められている」と怒った。

参院議員会館前の、「年金法案」「有事7法案」反対の全国統一行動集会とエール交換。西川全労連副議長が「有事7法案は、矛盾と破綻に直面しているあのイラク戦争をアメリカが全世界で行うとき、日本の国、国民のすべてを投入して協力する法案だ。絶対に廃案にしなければならない」と決意を述べた。

「通常国会は6月14日まで。衆院の審議を長引かせれば、参議院で期限切れにするチャンスはある。希望を持ってやろう」と、社民党の福島党首。しかし、20日の衆議院本会議で、自民、公明、民主3党による共同修正の上、賛成多数で可決、ただちに参院に送付された。6月上旬に、成立の見通しだといわれている。

天然ガスがひらく未来



次の世代のこどもたちのために、
いま、わたしたちが出来ること…
東京ガスは考えています。

東京ガスは、化石燃料の中でCO_2やSO_x・NO_xの発生量が最も少ないクリーンなエネルギーである天然ガスを使用した、効率的なエネルギーシステムの普及・拡大に努めています。また、環境にやさしい暮らしやエコライフの提唱など、環境コミュニケーション活動を推進しています。

http://www.tokyo-gas.co.jp/

エネルギー・フロンティア TOKYO GAS

音楽通して平和に貢献

喜納昌吉さんが受賞
世界平和音楽賞の日本賞
6月ハノイで

音楽を通して平和に貢献したミュージシャンに送られる「ワールド・ミュージック・アワード＝WPMA（世界平和音楽賞）」の日本賞を喜納昌吉さんが受賞。15日、四ッ谷・プラザエフで記者会見が行われた。

記者会県をするWPMAスタッフと喜納さん（右）

WPMAは、2002年に設立された。同年10月、バリ島のナイトクラブがテロ爆弾をうけ208人もの若者たちが死んだ。しかし、バリ島の人々は暴力に訴えることはせず、「こうした暴力が他の国で起こりませんように」と、海の近くで祈り続けたのだ。この平和的行動に世界は目を向けようとしなかった。

WPMAの主催者、マット・テイラーは、バリの人々の行動に、平和を訴え続けいるミュージシャンの姿を見た。「世界で事件が起こるたび歌われ、人々の心を一つにしてきたのは彼ら、彼女らの曲であるにもかかわらず誰1人としてノーベル賞も世界的な感謝の言葉さえもらっていない」。それどころか、ステージ妨害、ボイコットという悲惨な目にさえあっている。「ミュージシャンのために平和な歌が歌える場所を残そう、世界平和に大きく貢献したミュージシャンを称えよう」と設立された。

政治的意志のないボランティア活動に、国連が組んだ（国連ミレニアムデブロップメントゴール・プロジェクトの一環）。

第1回の授与式と招待アーティストを交えたコンサートは、WPMAのきっかけを作ったバリ島で開かれた。イラク戦争、SARSの蔓延、インドネシアの内戦という悪条件の中、開催が危ぶまれたが25カ国以上から有名アーティストとミュージシャンが駆け付けた。会場には3万人が押しかけた。コンサートは世界中にテレビ放映され、大成功を納めた。

2回目の今年は、ベトナムのハノイで6月22日(火)に開催される。ベトナム戦争終結から30年、心身ともに後遺症が残り、ベトナム人の戦争はまだ終わっていない。今こそ世界の目をベトナムに向けようと、決まった。

喜納さんの受賞は、代表曲『花（すべての人の心に花を）』に見るように、平和の願いを込めた曲の数々、40年以上にわたる平和活動に対して贈られるものだ。

喜納さんは「賞をもらうのは初めてだ。いま、戦争体験のない若者は戦争がカッコウいいもののように思っているが、戦争ほど惨めなものはない。誰もが地球規模の愛を持てば戦争は起こらない。それを日本から発信していきたい」と受賞の喜びを語った。

「花～」が世界的ヒット

プロフィール

1948年、米軍占領下のコザ（現・沖縄市）に生まれる。父は沖縄民謡の大家・喜納昌永。68年喜納昌吉&チャンプルーズ結成。70代、17歳のとき作った『ハイサイおじさん』が大ヒット。『花～』は日本のみならず、タイ、ベトナム、アルゼンチンなど、世界各国のアーティストがカヴァーしヒットしている。現在までに30枚以上のCDをリリースしている。

都の教育から自由なくなる
都教委の「暴走」止めるネットワーク結成

石原都政下の「教育基本法改悪先取り」の強硬なやり方が目立つが、処分された教員やその支援組織、これでは都の教育から自由が全くなくなってしまうと危惧する市民たちが反撃のネットワークを組むことになり、22日結成総会が開催された。

昨年、性教育への養護学校の大量処分。昨年10月には式などでの「日の丸君が代」の強制を強める「通達」と「実施指針」を出し、卒業式、入学式では起立しなかった教員たちが大量に処分（解雇処分を含む）されている。

また、2001年に都・横山教育長は都の教育目標を改変、本文から「日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき、また児童の権利に関する条約等の趣旨を尊重して」の文言を削除し、新たに「わが国の歴史や文化の尊重」加えた。まさに教育基本法改悪の先取り。都のやり方は他の府県に及ぼす影響も大きいだけに問題は大きい。

こうした都の「暴走」に、いままで個々に訴訟など反対、抗議していた団体、個人などが「東京都教育委員会の暴走を止めよう！ネットワーク」をつくることになったもの。結成集会には、処分者、教育関係労働組合など教師のほか、保護者の会など、市民団体も数多く参加、都教委への大きな反撃を始めようと話し合った。13時半に開会、具体的な状況や活動の報告を行ったが夕方17時まで続いた。

ネットワークでは、とりあえず、行動として、「市民の集会に積極的に参加」（都の教育の現状を広く知ってもらう）、「都教委へ手紙、葉書、ファクシミリ、電話などで抗議」、「都教委包囲デモ」、「10・23通達撤回の署名運動」などを行う予定。

第7回食事サービス活動セミナー7月に開催

全国老人給食協力会

全国老人給食協力会（ミールズ・オン・ホイールズ日本協会）は、「第7回・全国食事サービス活動セミナー」を7月18日(日)東京・飯田橋のセントラルプラザで行う（後援・全国婦人新聞社ほか）。

食事サービス活動は、いま社会福祉協議会、NPO、ボランティア、企業など多様な供給主体で行われ、在宅支援の一環として社会認知を受けはじめているが、公的施策の変革で新たな活動のあり方も求められている。

分科会では、食事サービス従事者の基礎知識の共有化をはかる。

日程は、9時30分開場。10時から講義「食事サービス施策の動向」翁川純尚（厚生労働省老健局）。10時56分・第2講義「介護予防の食事サービス」熊谷修（東京都老人研究所・管理栄養士）。13時講義3「お年寄りとのコミュニケーションの工夫」鈴木絹英（NPOホールファミリーケア協会理事長）。

14時から15時まで分科会。①「高齢者を対象とした外食産業の動向」②「高齢者の食を地域で支える」。13時10分から各地の活動状況報告。山崎美貴子・東京ボランティア市民活動センター所長の総括。16時から交流会。

参加費…会員5000円、一般5500円。申し込み・全国老人給食協力会☎03・5426・2547

助成団体を募集中
東京ウィメンズプラザ

東京ウィメンズプラザでは、「民間活動助成事業」の対象者（団体、グループ）を募集中（6月7日(月)まで）。

東京における男女平等参画社会の実現を目的とし、民間の自主的活動をサポートするため、事業費の一部を助成するもの。助成金額は、200万円を限度に対象経費の2分の1が助成される。

助成の対象となるのは、シンポジウムや講演会、ビデオ・映画・学習教材の製作や演劇公演といった男女平等参画促進を図る普及啓発事業をはじめ、活動記録の作成や、ネットワーク作りといった自主的実践的活動、国際会議の開催、先進事例の紹介など国際性に富む、男女平等参画促進に関する事業、生活に身近な課題を男女平等参画、女性問題解決の視点から捉えなおす事業など、男女平等参画の促進に関する活動。

原則として、都内に居住、あるいは拠点として事業を行い、団体やグループは、都内に事務所があることなどの要件があるので、詳細は問い合わせのこと。

申込み・問い合わせ…東京ウィメンズプラザ☎03・5467・1718

労働者の生活と権利を守ろう！
「げんこつまつり」に参加しょう！

労働者の権利と平和のためのコンサート「げんこつまつり」がやって来ました。今回のゲストはフォークの大御所、中川五郎さんと高田渡さんです。また、労働組合の仲間のロック、フォーク、沖縄民謡や労働争議の現場で争う争議団や、職場の組合員もステージに立ちます。みなさ～ん！お誘い合わせの上、ぜひ参加してください！

いま、小泉政権は、労働者の生活と権利を圧迫する政治を進めています。特に、「労働分野の規制緩和」と称して、解雇のしやすい社会、パート・契約・派遣など安上がりで使い捨てできる非正規雇用者を増やす政策を強めています。そして、自衛隊派遣、有事立法、改憲へと続く道は労働者の権利を抑圧し生活を不安定なものにしています。私たちは、平和で、安心して働き、生活する権利が守られる社会を望んでいます。楽しく、そして有意義な1日を一緒に過ごしましょう！

◇

第2回げんこつまつり
日時…6月12日(土)15時～20時30分
場所…ムーブ町屋ホール（千代田線・都電・京成の町屋駅すぐ）
参加費…前売・一般2000円（大学生以下1500円）、当日・一般2500円（大学生以下2000円）
問い合わせ…同実行委☎090・9296・6196、電子メール genkotsu@abox23.so-net.ne.jp

ヌエック　コミこみネッと

樹木の世代交代に貢献&守る役目も
コゲラの旅立ち　手伝った親の気分

初夏。少し強くなった陽射しが、会館の構内に降り注いでいます。

ジメジメとうっとうしい梅雨が来る前に、少しでも会館の自然を満喫しようと外に出たところ、今日は変わった出会いを体験しました。出会った相手は茶色と白のまだら模様の小さな鳥。巣立ったばかりなのか上手く飛べない様子で、停めてあった車のタイヤのすぐ前に佇んでいました。車がエンジンをかけて出発しようとしていたので、ひょいと手を伸ばすと、あっさりつかまってしまう始末。車からちょっと離れたところに離してやったのですが、上手く飛べずに、またまた車のほうへと向かって行きます。仕方がないので、もう一度捕まえて、今度はもう少し離れたところへ連れて行きました。こんなのでコイツは大丈夫なのか…思い手を離した瞬間、鳥は見事に空を舞い上がって行きました。

巣立ちを手伝った親のような気分に浸りながら、この鳥のことを調べてみると、コゲラというキツツキの仲間であることが分かりました。コゲラは若い木ではなく、腐りかけた木を巣に利用し、木の幹の内部や表皮の裏にいる虫を食べることによって、樹木の世代交代に貢献すると同時に樹木を守る役目も果たしていると考えられているのだそうです。

今日、頼りなく飛び立っていったコゲラも、生態系の一部として会館の樹木に貢献していくのだな、と思うと、ちょっとうれしくなった一日でした。（MK）

独立行政法人
国立女性教育会館（ヌエック）
〒355－0292埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地
☎0493・62・6711（代）
URL http://www.nwec.jp
E-mail webmaster@nwec.jp

差別と闘い働きつづける

『定年退職と女性』出版記念会

「女性労働研究会」のメンバーで、最近定年を迎えた10人の女性が働きつづけた自分の歴史を書いた「定年退職と女性」（ドメス出版刊、2100円）の出版記念会が23日、東京渋谷区の日本青年館で開かれ、10人の著者や解説の伊藤セツさん（昭和女子大女性文化研究所所長）らが大勢の参加者のおめでとうコールを受けた。

入社して以来、女性差別を受け、結婚、出産では露骨な嫌がらせ。その中で弱音を吐かず、働きつづけるのは当然と闘いつづけた記録。それが、確実に、日本の歴史を変えてきた。この本がひとりでも多くの人に読まれ、女たちの闘いの歴史を若い世代に語りつぎたいと話し合った。

贈られた花束を持って、爽やかに。著者たち

イランの文化知る「イラン映画祭」開催

「イラン映画祭2004」が、6月4日㈮から13日㈰までの10日間、東京・赤坂の国際交流基金フォーラム（赤坂ツインタワー1F＝銀座線、南北線の溜池駅12番出口1分）開かれる。日本初公開の6作品を中心に全10本を上映、シンポジウムも行われる。主催は同実行委、共催・イランイスラム共和国大使館。

イランは中近東随一の映画大国で、年間60本以上制作されている。日本でも毎年10本前後の作品が紹介されているが、多くは児童映画。イラン＝児童映画のイメージが強いが、児童映画以外様々なジャンルの大人の映画が制作されており、イラン国内ではむしろ児童映画より観客を動員している。映画祭には、そう言った日本で未公開の作品を中心に上映し、イランの文化を伝えたいと言う。

イランを代表する巨匠・未公開作品を紹介すると、『ボイコット』『ポルシッド船長』『鉛』『クスノキの匂い、ジャスミンの香り』『街の陰』『ベマニ』。

全作品日本語字幕付き。入場料は、前売り800円、当日1000円。チケットぴあで発売。シンポジウム＝5日㈯16時「イラン映画の過去、現在、未来」、12日㈯4

続・お塩のはなし

失敗しない梅干し作り

塩についてのQ&A

Q：“塩分控えめ”と言われるので、塩を減らし梅干しを作ってみましたが、カビがはえ、失敗しました。失敗しない梅干し作りは？

A：今年は申年です。申年の梅は薬になると言い伝えがあり珍重されています。最近の研究で、梅干しには血液を浄化し、サラサラにする効果があることが分かりました。梅干しを毎日召し上がることをおすすめします。

「減塩」が推奨されるこのごろですが、梅干しで塩を少なくして漬けるのはむずかしく、業者の「減塩梅」も普通に漬けてから塩抜きをしているようです。塩といっしょにうま味も抜けます。梅は、塩をたっぷり使っても、ある程度以上は吸いません。また、梅干しは小さく、そんなに大量には食べませんので「減塩」にこだわらなくても良いと思います。

梅と塩でつくる梅干し、これはすばらしい民族の文化、知恵です。時雨音羽著の『塩と民族』という本は、昭和18年初版ですが、塩の働きや重要性について幅広く深く書き、今に読みつがれている名著です。その本の結びの言葉に「（塩は）貴重品の如くで、求めれば野に山に河に、海にその量地球を包んで訐りがたい。一個の梅を食ふとき、千粒の鹽を想へ！」とあります。

私どもが失敗なくおいしい梅干しができるとお勧めしている分量は　梅（黄熟したもの）1kg、塩（粗塩）200～300g、赤ジソ（葉の部分）100g、ホジソ用の塩（粗塩）20～30gです。

（回答・伯方塩業株式会社）

自然塩運動の源流
伯方の塩（はかた）
提供　伯方塩業株式会社
E-mail info@hakatanoshio.co.jp
http://www.hakatanoshio.co.jp

ほんぽ

「ジェンダーフリー・性教育バッシング」ここが知りたい50のQ&A

浅井春夫　北村邦夫
橋本紀子　村瀬幸浩　編

ジェンダーフリーや男女共同参画、性教育へのバッシングが顕著になっている。それも、議員による質問という形や一部マスコミのキャンペーンで批判や中傷がくり返されている。

本書はバッシングの背景とねらいを明らかにし、いま起こっていることと、ジェンダーフリーや性教育の本意や、教育現場での実際の姿をQ&A方式で説いている。

障害児の教育で使われる「からだうた」についての都議の質問に教育長が「人前で読むのははばかられるもの」と答えるなど、どこが？と両者の教育への履き違えがわかる。大事な教材である性器のついた人形を、下着や衣服を脱がせて写真に撮り記事にした記者のボルノ感覚こそ問題だ。

ジェンダーフリーを「性別をなくすこと」と誤った解釈をし、更衣室を男女同一にしたと事実無根の学校名をあげて非難するなど、バッシングのウソに驚かされる。

日本では性を貶めてきたので陰語でない性器の適切な名称がないため、ペニス、ワギナが定着してきたのだが、その言葉だけをとらえた性教育への攻撃はあまりにひどい。本書をPTA読書会などで、ぜひ読んで欲しい。（陽）（大月書店1470円）

出がけてみませんか

開催中

▼シルクロードの装い展～パリ・コレに花開いた遊牧の民の美　6月20日㈰まで　10時～18時　東京庭園美術館（目黒駅東口7分）　※第2、4水曜休館　パリ・コレデザイナー達の作品とその源となるシルクロード地域の伝統衣装や装飾品等　一般1000円、大学生300円、中高生・シニア500円　問合せ：同館☎03・3443・0201

▼心のふるさと―近代絵画の精華　7月4日㈰まで　10時～17時※月曜休館　富士美術館（身延・富士宮駅からバス）自然の情景や風俗・風物を描いた明治・大正・昭和時代に活躍した洋画家、日本画家、版画家の名品約50名　大人550円、大高生350円、中小生200円　主催：同館☎0544・58・2550

川瀬巴水「元吉原の朝」昭和15年（1940）

▼エンプティ・ガーデン2展　9月26日㈰まで　ワタリウム美術館（渋谷区神宮前3-7-6☎03・3402・3001）参加アーティスト　シュタイナー&レンツリシガー（スイス）、クー・ジュンガ（フランス）、イアン・ケア（イギリス）他　1000円

▼2004日中友好婦連バザー　6月5日㈯、6日㈰11～16時とも　横浜・山下町町内会館（みなとみらい・元町・中華街駅）　出品物募集…食品・日用雑貨・本、食器他　出品物の受付…6月5日㈯10時～16時、持参又は託送便（町内会館宛）　主催…日中友好神奈川県婦人連絡会☎045・261・0522（火・午後）

あしたに、あなたに
LION

オーラルケアから始まる。
健康のこと。
LION ORAL PHILOSOPHY

このマークがライオンの新しいムシ歯予防の目印です。

plaque control

ムシ歯ゼロへ
予防歯科を実践する

歯科医のプロケアと共にご家庭でのセルフケアを積極的に実践していくこと。
それが新しい歯科医療の考え方、「予防歯科」です。

歯科医学の新しい考え方と実践をご家庭へ。
新クリニカシリーズ、誕生です。

医薬部外品
© Disney

●PCクリニカライオン ●クリニカハブラシ3列ヘッドミディアム ●クリニカハブラシ3列ヘッドミディアムソフト ●クリニカハブラシ4列ヘッドミディアム ●クリニカハブラシ4列ヘッドミディアムソフト ●クリニカハブラシ生え替わり期用 ●クリニカハブラシ乳歯期用 ●クリニカダブルフロス ●クリニカスポンジフロス ●クリニカ電動ハブラシ ●クリニカ電動ハブラシ替えブラシ2本入り

ライオンのホームページアドレス：www.lion.co.jp